

宮崎県支部同窓会総会・懇親会について

1月27日（日）正午、都城グリーンホテルにおいて、宮崎県支部総会並びに懇親会が開催されました。本部同窓会からは大坪憲市（昭和41年卒）同窓会会長、学校からは宮園秀昭（昭和46年卒）校長と中尾龍二（昭和52年卒）同窓会係の3名が出席しました。

総会を前に松山輝雄（昭和34年卒）幹事長から、宮崎県支部同窓会の活動の経過報告と現況報告がなされ、その中で、宮崎県への進学者の情報入手が「個人情報に関する保護法」により、ますます困難になり苦悩していること、昨秋からの「野球部へピッチングマシンを贈ろう」運動に対して、宮崎県支部会員からも個人参加の形での協力があつたことなどの報告がありました。

総会では、芝原正文（昭和42年卒）宮崎同窓会会長が挨拶の中で、在校生、保護者を巻き込んだ母校再生の道の工夫が必要であるとの提言がなされました。次に、大坪憲市本部同窓会会長は、一人でも多くの人を巻き込んで母校存続を訴えたいと話されました。宮園校長先生からは、難関大学へのチャレンジ、中学との情報交換、カーディガンの作製等学校の現況報告がありました。

引き続き行われました懇親会では、酔っぱらった赤ら顔ではまずいということで早めに記念写真撮影が行われ、学生時代の思い出や母校への思いを盛り込んだ恒例の楽しい自己紹介、松山幹事長の出席者をアツと言わせた手品の余興もあり、あつという間に予定の時間が過ぎてしまいました。懇親会のフィナーレを飾ったのは田代和民（昭和26年卒）さんの指揮で歌った校歌でした。旧校歌合唱の後、新校歌を1番～4番まで全て合唱しました。最後に、大坪学（昭和26年卒）さんが万歳三唱の音頭をとり、都城での楽しいひと時は散会になりました。

（文責 中尾）



2013年01月28日 登録